

こぞあ

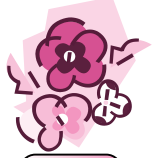


しんせつで  
えがおを  
ふやそう  
みんな  
でね

標語：「しんせつで えがおをふやそう みんなでね」

栃木市 大平隣保館

令和元年11月発行 栃木市大平町新1305-3 TEL 0282-43-6611



## 人権作文

### 「思いやりから うまれるマナー」

大平西小学校 三年

濱崎 はまさき  
心陽 こはる



わたしたちの身の周りにはいろいろなマナーがあります。学校の中でも、いつもつぎの人のことを考えて、トイレのスリッパをそろえるように言われています。自分が見だしているわけではなくても、すすんでそろえている友だちもいます。きまりではなくても、マナーはたくさんあると思います。ある日、こんなこ

とがありました。

わたしは、家まででお出かけをして、バスに乗ったことがありました。一日遊んでつかれていたし、もう夜だったので、へとへとでした。

うんよく、バスのざせきがあいていて、わたしはすわることができました。ところが、だんだんバスがこみはじめました。高校生や私くらいの小学生もいました。それから、おじいさんやおばあさんも乗ってきました。すわることができずに、立っている人もたくさんいます。私は、

「立っているなんてかわいそう。でも立っている人もたくさんいるし、このままでいいかな。」

と思いながらも、なんとなく気持ちが悪く感じました。

すると、わたしのせきのとなりですわっていたお母さんが、そばで立っていたおばあさんに、

「すわりますか。」  
と、声をかけていました。でもおばあさんは、

「大じょうぶ。大じょうぶ。」

と云ってことになりました。それでも、お母さんは、

「いえいえ。どうぞすわってください。」

と、声をかけていました。それでも、やっぱり、おばあさんはすわる様子がありませんでした。それからもう一度、お母さんがせきをゆずると、おばあさんは、頭を下げてせきにすわりました。わたしは、その様子を見て、すごしほっとしました。

バスが終点にとっつ着きました。おばあさんは、バスをおりるときに、お母さんに、

「ありがとう。本当はとてもたすかったの。」

と、言っていました。おばあさんもお母さんも、えがおでした。わたしは、その様子を見ていて、うれしい気持ちと、でも、はずかしい気持ちにもなりました。わたしのまわりにも、きつとせきをゆずってほしかったと思っている人がいたろうし、やはり、ゆ

う気を出して、せきをゆずった方がよかったと思っただけです。

身のまわりには、いろいろなマナーがあり、思いやりの気持ちから生まれるマナーもたくさんあると思います。私は、これからも、だれかのために、やさしい気持ちを分けることができる人になりたいです。そして、みんながまわりの人の気持ちを考え、思いやりでいっぱいの世界にしたいです。

## 「自立した女性を目指して」

大平中学校 三年

野口 楓佳



「そうか、自分に力をつけること

なんだな。」二千二十四年から、新しい五千円札の候補になっている津田梅子さん。名前を聞いてもよく分からなかったのを調べてみると、津田塾大学を創立した人で、「女子教育の先駆者」なのだそうです。明治の初めにたった六歳でアメリカに留学し、日本に戻った時に、「女性の置かれている状況に驚き、日本女性の地位を高めなければ」との思いを強くします。そして、「男性と協力して、対等に力を発揮できる自立した女性の育成」を目指したのだそうです。

歴史で女性の地位向上のために、女性運動を進めた平塚らいてうさんのことを学習しました。この方は、社会に訴えて女性の参政権の確立や仕事における男女格差をなくす運動をし、活躍した方です。お二人とも日本における女性への対応の在り方に疑問を持ってその解消のために立ち上がったの

です。でも視点が違います。世の中の流れを変えようと頑張るらいてうさん。女性一人一人が、自分にゆるぎない力をつけて、「女性だから」とさげすまれない教養を持つことの大切さを、塾という形で示された梅子さん。この二つのことが相まって、車の両輪のようにうまく動き出し、その地位が確立してきたのかもしれない。

今、私は中学校で生活をしていきます。もしかしたら、私の人権感覚が低く気が付いていないのかもしれないませんが、その環境の中では大きな男女格差は感じていません。どちらかといえば女子の方が、言いたいことをはっきり男子にぶつけていることもしばしばです。先生方も男女の区別なく様々なことを指導してくださっていますが、もちろん体育などは男女別ですが、それは、男子と女子では、走っても跳んでも性差があるので、当然のことと思っています。

でも、男女格差は確実に無くなったのではなく、今でも社会の中ではいろいろな問題を引き起こしています。例えば、昨年問題になった大学の医学部入試に関する女子生徒の不正な不合格の事件です。入試要項に合格の男女比率など書かれていなかったのに、高得点にもかかわらず不合格にされてしまった女の方が何人もいました。医師という職業の仕事の内容から考えると、男の人の方が向いているのかしらとも考えましたが、それにしてもこっそりと点数を減らし不合格にするのは、やはり女の人に対する差別だと思いました。

母がつぶやきました。「医師だけでなく、会社でも女の方は結婚したら辞めちゃう人も多いし、子育て中は休みも多いから、あんまり期待できないんだよね、と言っのを聞いたことがあるよ。」と。続けて「介護なんかも、夫婦でいる場合、女の方が受け持つことも多いから、やっぱり大変かもしれないね。」と。そもそも、それって女の人の仕事と、考えてしまうこととそれもおかしい気がします。やはり、憲法的には、平等になってはいるけど、まだおかしいことはたくさんあります。

とても難しい問題だと思えます。その中で「今の私にできることは何かしら。」と考えた時に、津田梅子さんの提唱された、まずは「自分自身にしっかりとした力をつけること」今与えられた環境の中で、一生懸命に学習をし、いろいろなものの見方ができるようになることや、人権感覚にも磨きをかけることが大事なのだろうと思えます。

「いやあ、これは大変だ。じつとなんかしていられないぞ。できる限りの力を身につけ、前向きに進もう。」

## 【人権啓発活動】

◎「人権セミナー」が開催されました

部落解放同盟栃木市協議会主催による人権セミナーが、8月18日(日)大平文化会館にて開催されました。

講師に、タレントのはるな愛さんを迎え、ご講演いただきました。秘蔵の写真をバックに、テレビではなかなか語られない、中学時代に受けたいじめや女として生きる決意をするまでの苦悩や葛藤を、涙と笑いを交えて語っていただきました。最後に、「ええねんで」を熱唱し、会場のお客さんも一緒に振り付けをし、大いに盛り上がりました。

また、NPO法人「LGBTの家」と友人をつなぐ会「中島潤さんより、人の性は、「男と女」の二通りではなく、複雑、多様でみんなそれぞれ違う」とのご講演がありました。性のあり方を見つめ直す良い機会となりました。



# 「人権を考える市民の集い2019」を開催します

人権尊重のまちづくりを推進するため、「人権を考える市民の集い2019」をつぎのとおり開催いたします。

講師に、フリーキャスターの木場弘子氏を招いての講演をメインに、市内小学生の人権書道や人権絵画コンテストの作品展等をホワイエにて展示するほか、オープニングでは大宮北小学校吹奏楽部による演奏が行われます。



講師の木場弘子氏

◎入場無料ですので、お気軽にお越しください。

◆日時 11月30日(土)

開場 午後1時

オープニング 午後1時25分

開会 午後2時

◆場所 栃木文化会館 大ホール

◆定員 1200人(先着順)

◆講師 木場弘子氏

◆演題 「魅力的なコミュニケーションで誰もが輝く社会に」

※入場無料(申込不要)

手話通訳・要約筆記あり

## ◎人権擁護委員による特設相談

人権週間に合わせて、市内各所にて人権擁護委員による人権相談窓口をつぎのとおり開設します。どうぞ気軽ににご相談ください。相談は無料、秘密は守られます。

### ◆日時及び会場

① 12月5日(木) 午前10～午後3時

大平隣保館

② 12月6日(金) 午前10～午後3時

厚生センター



### ◆問合せ先

人権・男女共同参画課

電話 0282(21) 2161

# 隣保館事業の案内

## ◎HAPPY生き生き塾

HAPPY生き生き塾は、60歳以上の方を対象に、レクリエーションや教養・文化活動など様々な講座を通して、心身ともに健康で明るく過ごすことを目的に、6月から毎月1回開催しています。

9月には電気安全教室を開催し、電気機器の正しい使い方や省エネについて勉強しました。



電気ショートの実験の様子



お気に入りできました♪

## ◎「草花をアレンジしよう」を開催中

10月23日(水)から全3回の短期講座「草花をアレンジしよう」を開催しています。とちぎ花センターの職員を講師に迎え、第1回目は「草木染め(茜染め)」を行いました。参加者は講師の指導のもと、和気あいあいと作業を進め、素敵にできあがった茜染めに大満足していただきました。

## ◎ふれあい交流会

榎本集会所をメイン会場にして毎月第3金曜日に開催している「ふれあい交流会」は、10月18日で251回を迎えました。毎年10月の「ふれあい交流会」は大平南第2保育園にて、「ミニ運動会」を行っています。園児たちの上手なダンスを見たり、一緒に競技をしたり、お弁当と一緒に食べながらおしゃべりしたりと楽しいひと時を過ごしました。



みんなかわいいね♪

# 夏休みの児童たち

## 「サマー学習室」を開設しました。

7月の夏休み期間中、大平隣保館多目的ホールを夏休みの宿題や受験に向けた勉強ができるよう開放しました。

お友だちと勉強♪



## 「下野新聞塾」 とちぎ子どもの未来創造大学出前講座



8月29日(木)に下野新聞社さんの出前講座「下野新聞塾」がありました。

新聞の構成や読み方を学び、実際の新聞記事に見出しを見つけたり、昔話「桃太郎」の出来事を新聞記者になったつもりで、記事を書いたりしました。

物語とは一味違った「桃太郎」が出来上がりました。

## 人権ミニフェスタ2019が開催されました

10月5日(土)に大平公民館、大平文化会館において、栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会と栃木市の主催で「人権ミニフェスタ2019」が開催されました。

第一部では、「1日人権擁護委員」に委嘱された市内の中学生が人権啓発活動や人権問題についての意見発表を行いました。

第二部では、大平中学校吹奏楽部の演奏の後、新潟産業大学経済学部准教授・蓮池薫氏の「夢と絆〜北朝鮮での24年間、そして今〜」と題した講演が行われました。奇しくも、この日は、横田めぐみさんの誕生日でありました。北朝鮮当局による拉致被害者の家族の状況、自身が拉致された時の状況や監視下での厳しい生活、日本に帰国するまでの経緯、日本に帰国してからの苦悩、今もなお日本に帰国できずにいる方たちの心情を語られました。

拉致問題は全ての日本人の問題であり、必ず解決しなければならぬという思いを共有し、会場は大きな拍手につまれました。





## 大平隣保館「新春書初め会」参加者募集!

市内在住の中学生以下を対象に、書初め会を開催します。  
皆で集り、気持ちを集中し、テーマに沿って書初めを行います。  
みなさんの参加をお待ちしております。



- ・日 時 令和2年1月11日(土) 午前10時～11時30分
- ・場 所 大平隣保館 多目的ホール
- ・持って来る物 習字セット(大きい下敷き) 墨汁 新聞紙
- ・課 題 幼児/好きなひらがな  
小1/「えがお」 小2/「しんせつ」 小3/「なかよし」  
小4/「大切な命」 小5/「友達の輪」  
小6/「一視同仁」 中学生/「人権尊重」
- ・講 師 石原 幸子 氏
- ・申込受付 12月2日(月)～

\*お手本が必要な人は大平隣保館事務室  
に用意してありますので、  
お声かけ下さい。



みんな真剣です!

## 『第71回 人権週間』

世界人権宣言の採択を記念し、国内では1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日まで)を「人権週間」と定めています。

皆さんもお近くの催しに参加して、「思いやりの心」や「かけがえない命」について、もう1度考えてみませんか?

「みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

みんなの人権110番 0570-003-110





# 集会所事業



7月・8月に大平の集会所で、大平地域の小学生を対象にした「親子仲良し料理教室」を5回開催、合計18家族が参加しました。健康料理研究家・栄養士の青木恵美子さんのご指導のもと、巻きずし・海藻スープ・フルーツゼリーを同じ班の人と協力しながら作りました。

夏休みの楽しい思い出がひとつ増えました。



青木恵美子 先生



10月2日(水)に岩舟地域の2集会所合同で野外研修を行いました。カルビー清原工場では、かっぱえびせんとシリアルの製造工程を見学しました。

また、大谷資料館では、大谷石採石場跡で大谷の地質をはじめ、昔の採掘・搬出方法、現在は、酒の保管庫や撮影など多様に利用されていることを学習し、地下の幻想的な大空間を堪能しました。

## ◎藤岡・都賀集会所

### 「ふれあいのつどい」

藤岡の集会所2館で開講している「ふれあいのつどい」では、前年度のアンケートを参考に成人対象の講座を組み、いろいろな実習・実技・研修に励んでいます。

6月に都賀集会所では、とちぎ花センターから講師を招き、コケ玉作りに挑戦し、鑑賞し合いながら、会話の花も咲きました。



「講師の小幡さんと記念撮影  
笑顔の花も咲く」



## 厚生センターからの活動報告

### 【厚生センター自主講座】

8月3日(土)、小学生を対象に夏の交流事業を実施しました。元気に集まってくれたお友だちと一緒にスライム作り、やさしい人権のお話、お食事会、輪投げ、本の読み聞かせ、ビンゴ、ヨーヨーつりなどをして、楽しい一日を過ごしました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



9月26日(木)、厚生センター利用者等(36名)による【千葉県西部防災センター(千葉県松戸市)外】地域交流研修会を実施しました。

午前中は松戸市の千葉県西部防災センターに寄り風速30mの暴風雨体験や水消火器を使った消火器の使い方などを学びました。昼食は葛飾区柴又のとらやで天井と茶そばを満喫し、午後は柴又帝釈天通りの見学をしました。





# 厚生センターからのご案内

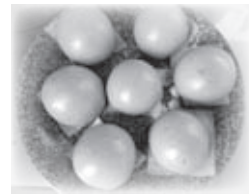
**厚生センター恒例、冬の交流事業を今年も開催します。  
たくさんのお友だちの参加をお待ちしています♪**

- と き：12月21日(土) 10時30分～14時30分
- ところ：厚生センター（栃木第四地区コミュニティセンター）
- 対象者：市内小学生（ただし、未就学児参加の場合は保護者同伴）
- 内 容：★レクリエーション  
 ★ビデオ上映  
 ★お食事会  
 ★輪投げ名人に挑戦！  
 ★ビンゴ大会など



**厚生センター自主講座：炭酸まんじゅう作りを開催します。**

- 日 時：令和2年2月開催予定
- 場 所：厚生センター（栃木第四地区コミュニティセンター）
- 定 員：10人（市民：初心者対象）
- 参加費：400円程度(変動あり)



\*詳細については、決まり次第広報とちぎでお知らせいたします。



■厚生センター 栃木市旭町9-7 ☎ 0282-24-2444





### 相談事業のご案内

大平隣保館では、市民を対象に日常生活における様々な困りごとに関する相談を常時受付けております。

どこに相談したらよいのか分からない場合でも、お気軽にご相談ください。隣保館で対応するほか、ご相談内容に適した機関等をご紹介します。

### 法律相談

2か月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。

今後の相談日は次のとおりです。相談は予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

◎相談日時 令和2年1月16日(木)

3月19日(木)

午前10時～正午まで

※相談時間は20分です。

### 日本語講座

大平隣保館では、外国人を対象とした日本語講座を開講しています。特に予約は必要ありません。料金は無料です。

ぜひ、ご利用ください。

#### ◎講座開催日

原則第1・2土曜日  
午後8時～10時まで

### 児童・生徒の利用時間変更のお知らせ

児童・生徒の安全確保等のため、利用時間を下記のとおり変更します。

◎期間：11月11日(月)～  
12月27日(金)

◎多目的ホール…午後4時20分まで

◎ロビー……………午後4時30分まで

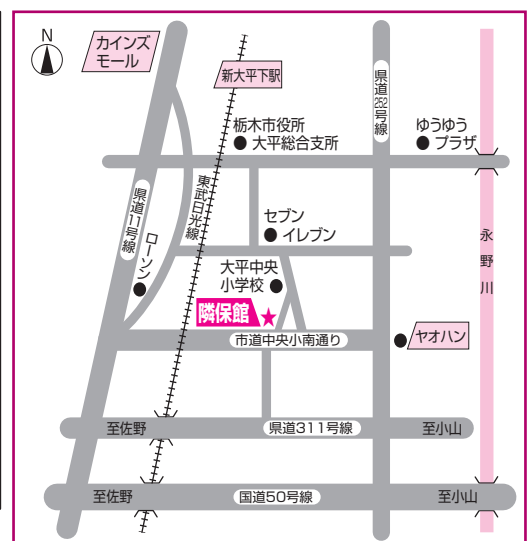
### 生活相談や 困りごとは 大平隣保館へ

電話でのご相談はフリーダイヤルで

よろしく なやみなし

**0120-46-7830**

(平日午前8:30から  
午後5:00まで)



表紙絵 絵手紙作家 根本晴夫さん  
標語 大平中央小学校4年 柏崎三菜美さん